

社会保険田川病院 広報誌

あおぞら

<http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>

- 地域がん診療連携拠点病院
- 日本医療機能評価機構 認定病院
- 基幹型・協力型臨床研修病院
- 産科医療補償制度加入分娩機関
- 福岡県肝炎患専門医療機関
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 救急告示病院
- 開放型病院



CONTENTS

- P2 診療科特集 アスベスト（石綿）関連疾患について
- P4 特集 インフルエンザ流行期に備えて
- P5 TOPICS 学術集会／文化祭作品展／ふれあい講座 他
- P6 Hospital Information クリスマスコンサート2014／外来患者さん満足度調査報告
- P7 栄養科コラム 冬に向けて免疫 UP!!「きのこのマリネ」／患者さんの声

「川崎町真崎の銀杏」

銀杏は街路樹として最多本数使用されています。雄株と雌株があり、実は雌株にのみあります。果肉には独特の臭気があるため、街路樹には雄株が主に使用されます。晩秋には澄んだ青空に黄葉が映え、その美しいコントラストが道行く人々を楽しませてくれます。

(撮影)産婦人科医長 望月一生



医療理念

- 1.患者中心の医療
- 1.医療の質の向上
- 1.地域社会に合った手づくりの医療
- 1.安心と信頼を持たれる病院づくり

基本方針

- ▶ 患者中心の医療をめざし、チーム医療を実践します。
- ▶ 医療の質の向上と医療安全対策推進に努めます。
- ▶ 患者さんに理解を得られる説明を行います。
- ▶ 平等な医療の提供、プライバシーの尊重、情報開示、治療の選択など患者さんの権利を尊重します。
- ▶ 地域がん診療連携拠点病院として、また地域における中核病院としての役割を十分に踏まえ、他の医療機関や介護施設との連携を推進します。
- ▶ 施設の共同利用や地域の医療従事者の教育研修に努めます。
- ▶ 救急医療、在宅医療、老人医療および予防医学に対応する諸策を遂行します。
- ▶ 健診部門や介護保険センターを通じて、地域社会の保健・福祉に貢献します。
- ▶ 心ある医療を提供するために、職員の教育・研修の充実とモラルの向上に努めます。
- ▶ 働きがいのある職場作りを推進します。

ご自由にお持ち帰りください



まごころと、安心と、信頼と
一般財団法人 福岡県社会保険医療協会



1. はじめに

アスベスト(石綿)曝露は自分には無縁だと思いませんか? 知らないうちに曝露している危険性があります。怖いのは曝露後数十年経過して肺癌や中皮腫(胸膜由来のがん)を発症する確率が高まる事です。

アスベストは耐久性、耐熱性、耐薬品性、電気絶縁性などの特性に優れ、安価であるため、過去には“奇跡の鉱物”として重宝され、建設資材、電気製品、自動車、家庭用品など、様々な用途に広く使用されていました。しかし、空中に飛散したアスベスト繊維を長期間大量に吸入すると肺癌や中皮腫の誘因となることが明らかになり、現在では“静かな時限爆弾”と呼ばれています。アスベスト製品が大量に生産使用された高度成長期から40年以上が経過した現在、アスベストが原因の肺癌や中皮腫の発症が急増しています。大阪府泉南地区のアスベスト集団訴訟で、アスベストによる健康被害について初めて国の責任を認めた最高裁判決が2014年10月に下されたことは記憶に新しい出来事です。自治体や医療機関にはアスベストによる健康被害に対する早急な対策が求められており、今回はこのアスベストに関する基本的事項と画像所見についてお話をさせていただきます。

前述のようにアスベストは多岐にわたり使用されていましたので、実際は曝露があるのに曝露を認識していない人が多数いると考えられます。アスベスト曝露の有無に関しては職歴などでは曖昧で、曝露の特異的指標である胸膜プラーク(限局性の胸膜の線維性肥厚。肺の胸膜が不規則に肥厚化した状態のこと。アスベストの粉塵を吸い込んだことなどが原因で起こる。)を画像診断で同定することが大切です。アスベスト曝露が確認できれば健康管理手帳制度による健康管理、労災保険制度や石綿救済新法などの救済制度が適用されます。



(図1)アスベスト
(アスベスト関連疾患日常診療ガイドから引用)

2. アスベストとは

アスベストは珪酸塩からなる繊維状鉱物の総称であり、吸入すると線維化と癌化がおこります(図1)。中皮腫や肺癌とアスベスト曝露の関係は疫学的調査で明らかにされています。疾患の発症には曝露濃度と曝露期間が関係し、低濃度曝露では胸膜疾患が、高濃度曝露ではすべてのアスベスト関連疾患が発生します(図2)。中皮腫は従来にはアスベストをとり扱う限られた職域に発生する腫瘍に位置づけられていましたが(職業性肺疾患)、アスベスト工場周囲住民や一般環境での低濃度曝露でも発症することが示され、大きな社会問題になっています。

3. アスベストの曝露形態

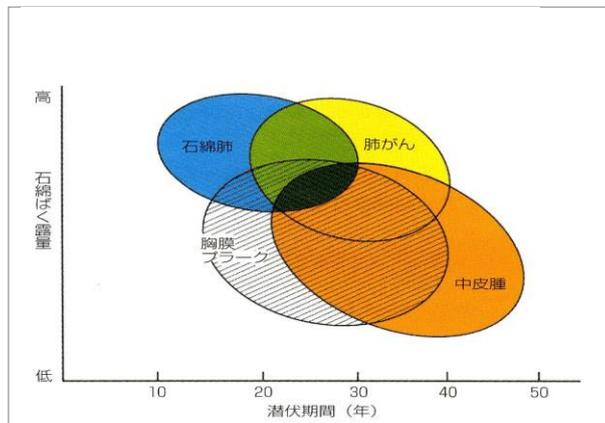
職業性曝露と環境性曝露とがあります。

●職業性アスベスト曝露

- アスベスト鉱山(戦時中に輸入が途絶え採掘。福岡県にもありました。)
- アスベスト原料の運搬(港湾など)
- アスベスト製品の製造(糸、布、セメント、絶縁耐熱耐酸製品)
- アスベスト吹きつけ(火災時に鉄骨が折れない)
- アスベスト製品を用いての作業(ボイラー、発電所などの配管や断熱作業)
- アスベスト製品の解体や補修作業(船舶や車両の解体、建築物の解体や補修)

●環境性アスベスト曝露

- アスベスト鉱山やアスベスト工場の近隣住民



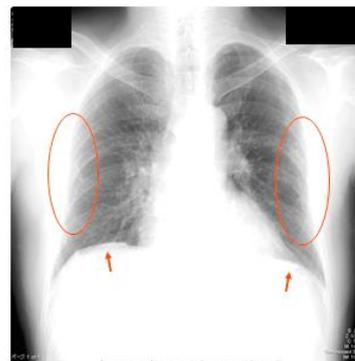
(図2)アスベスト疾患と曝露量、潜伏期間との関係

4. アスベストによる疾患と画像診断

低濃度曝露(一般環境での曝露)では中皮腫のリスクが高まります。一方、高濃度曝露(職業曝露)では肺癌発症のリスクが高まります。原則として石綿肺癌は石綿肺(肺の線維化による間質性肺炎)を先行病変とするとされています。

以下に主なアスベスト関連疾患の画像所見を記載します。

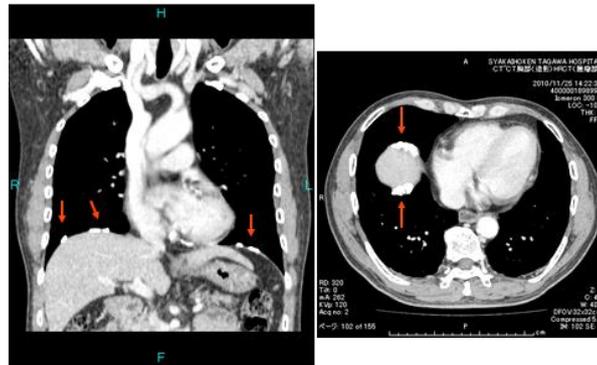
①胸膜プラーク 壁側胸膜に生じる限局性の膠原線維性肥厚病変で、石綿肺を発症させない低濃度曝露でも生じるため、アスベスト曝露の特異的指標とされています。中皮腫への転化はなく、前癌病変でもありません。胸部 X 線での検出率は 8-40%と低く、鑑別を含めた診断には CT 検査まで必要と考えられています。プラークの好発部位は横隔膜ドーム部や側胸壁部で(図3)、結核で認められる肺尖部や肋骨横隔膜角には通常認められません。非石灰化プラークは単純 X 線写真では検出し難く、胸膜プラークの有無の精査には CT が必要不可欠です(図4)。



(図3)胸膜プラークの好発部位

②石綿肺 アスベスト高濃度曝露によって発生する塵肺で、画像的にはびまん性間質性肺炎です。アスベスト曝露から 10 年以上経過して発症し、胸部 X 線上、両側下肺野に網状影を呈し、進展すると肺は蜂巢状に変化します。単純写真では石綿肺診断に限界があり、CT による精度の高い診断が望まれています。CT では石綿肺の所見があるにもかかわらず、5-40%では胸部 X 線で所見なしと診断されるとの報告もあります。

③肺癌 職業的曝露者の 20%で見られるとされ、30-40 年の長い潜伏期を有します。曝露量が多いほど肺癌発症の危険性が高まります。組織型は腺癌が多いとされていますが、画像的には通常の肺癌と異なりません。先行する石綿肺や胸膜プラークが伴います。



(図4)アスベスト曝露に特徴的な横隔膜ドーム部の胸膜プラーク

④胸膜中皮腫 アスベスト曝露後 20-40 年を経過して発症しますが、職業曝露のみならず近隣曝露にも発症し、少量曝露にても発症の危険性があります。画像的には原因不明の胸水貯留、不整な胸膜肥厚や結節を呈し、アスベスト関連良性胸膜病変が先行するため早期診断は困難な場合が多いのが現状です。肺癌の胸膜進展(癌性胸膜炎)との鑑別は困難です。

5. さいごに

以上、アスベストに関して概略を記載いたしました。アスベスト関連疾患の診断には胸膜プラークの同定が必須です。胸膜プラークが同定されれば、アスベスト曝露は明らかで、労災認定の道が開けます。ただし胸部 X 線では限界があるため、CT 検査が必須となります。検査により胸膜プラークが同定されれば、肺癌と中皮腫発症のリスクが高いために定期的な経過観察が望まれます。そうすることで肺癌や中皮腫を発症しても早期診断、早期治療が可能となります。

アスベストは紡績、港湾、運送、解体、配管、断熱処理など多岐にわたり使用されていました。当院の呼吸器内科、放射線科でアスベスト関連疾患の有無(曝露の有無)に関して精査できます。アスベスト曝露に心当たりがある方は CT での精査を勧めます。アスベスト疾患の診断に当院が役立てればと思っております。

(引用書籍)「アスベスト関連疾患日常診療ガイド、労働者健康福祉機構編」

●今回の記事を寄稿した医師について紹介します。

副院長 (放射線診断科)
植山 敏彦



■認定資格等
九州大学医学部卒業
医学博士
日本医学放射線学会 診断専門医
日本消化器内視鏡学会 専門医
日本消化器がん検診学会 指導医
日本医師会認定産業医

■経歴
1984 年 九州大学医学部附属病院
1987 年 福岡市立こども病院
1996 年 飯塚病院
2001 年 社会保険田川病院

Q 社会保険田川病院の放射線診断科の特長について教えてください。

当院の放射線科は常勤医 1 名、非常勤医 3 名で構成され、各種画像診断と放射線治療に携わっています。全員が放射線科専門医で、診断専門医 3 名、治療専門医 1 名での構成です。病診連携とがん診療の拠点病院として、64 列マルチスライス高速 CT や超伝導 1.5T の MRI など最新の画像診断機器を導入しており、放射線治療機器としても最新のリニアックを有し、高精度の治療に対応できる設備が完備されています。

Q 地域の先生方との連携について教えてください。

放射線科医として地域の医療機関との連携を深め、信頼関係を築いていくことは重要な仕事です。当科の場合、高額医療機器の地域での共同利用の観点から、連携医療機関の依頼で CT や MR などの各種画像検査とその読影を施行しています。高額医療機器の共同利用は中核医療機関の放射線科が地域医療に貢献できる重要な医療体系と思われまます。また、当院では**地域画像ネットワーク(C@RNA)の構築を進めており**、当院と連携医療機関の間でインターネットを介してオンラインで画像検査の予約、撮影画像と結果の閲覧ができます。現在の医療は施設完結型から地域完結型への転換が求められており、今後更に地域医療ネットワークの必要性が高まってくるのが予想されます。放射線科における病診連携、特に地域画像ネットワークを利用した画像連携が田川地区の医療の質の向上に寄与すると考えております。

Q 患者さんへのメッセージをいただけますか。

放射線科医は患者さんと接することは少ないですが、画像診断の領域で陰ながら患者さんのために貢献しています。放射線科専門医が常勤している病院は少なく、特に田川地区の放射線科専門医の数はきわめて少ないのが現状です。画像診断医として田川地区の医療の質の向上に少しでも貢献できればと考えています。

特集

インフルエンザ流行期に備えて

感染管理認定看護師
主任 先田 隆二

毎年秋から冬にかけては、インフルエンザの流行シーズンです。高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては重症化するおそれもあります。流行を防ぐためには、原因となるウイルスを体内に侵入させないことや周囲にうつさないようにすることが重要です。インフルエンザの感染を広げないために、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう。

1. インフルエンザの特徴は？

- ① 流行期は常に注意が必要!!
- ② 毎年 12 月より 3 月にかけ猛威を振るう。
(ピークは 1 月から 2 月)
- ③ インフルエンザは発症する前日から他人に感染を拡げる可能性があり、感染力が非常に強い。
- ④ こまめな手洗い、うがい、咳エチケットが重要。
- ⑤ 38℃以上の発熱や咳、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状。



2. インフルエンザで症状が重くなりやすい人

注意が必要なのは以下の方々です。

- ・お年寄り
 - ・お子さん
 - ・妊婦さん
 - ・COPD(慢性閉塞性肺疾患)、喘息、慢性心疾患、糖尿病といった持病のある方。
- 持病のある方は主治医にご相談ください。



3. インフルエンザはどのように感染するの？

インフルエンザウイルスの感染経路は、飛沫感染(ひまつかんせん)と接触感染の2つがあります。インフルエンザを予防するためには、こうした飛沫感染、接触感染といった感染経路を絶つことが重要です。

飛沫感染

- (1) 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出
- (2) 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染



※主な感染場所
学校や職場、満員電車などの人が多く集まる場所

接触感染

- (1) 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる
- (2) その手で周りの物に触れて、ウイルスが付く
- (3) 別の人が、その物に触って、ウイルスが手に付着
- (4) その手で口や鼻を触って粘膜から感染



※主な感染場所
電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

4. 感染予防対策として次の4つを心がけましょう。

★流行期のインフルエンザワクチン予防接種



予防接種はインフルエンザが発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化するのを防ぐ効果があります。

★外出後の手洗いとうがい



- 咳やくしゃみが出るときは、人に向かってしないようにしましょう。
- 咳やくしゃみが出るときは、ティッシュなどで口や鼻を覆いましょう。
- 使用したティッシュは直ちにゴミ箱へ捨てましょう。
- マスクをしましょう。
- 最後に流水と石鹸で手を洗いましょう。

★咳エチケットの励行



★十分な栄養とバランスのとれた食事



ふだんから十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ免疫力を高めておきましょう。

病院受診・面会時は、
右記のご協力をお願いします

- 症状のある場合は事前に医療機関に電話を入れ、マスクを着用して受診しましょう。
- 流行期は、夜間・休日に患者さんが集中します。できる限り診療時間内に受診しましょう。ただし呼吸器症状の悪化や、反応が鈍くなっている場合など症状が悪化したと思われる場合は、直ちに医療機関を受診しましょう。
- 発熱・咳の症状がある方は、面会をご遠慮ください。

●社会保険田川病院 感染相談室

担当者 先田隆二 感染管理認定看護師
連絡先 0947-44-0460 (代表)
対応時間 月～金 午前9:00～午後4:00

…患者さん、ご家族からの感染に関するご相談に対応いたします。お気軽にご相談ください。

TOP
ICS

病院で行われた患者さんや地域の医療従事者
向けの研修会などについてのご報告です。

第2回 社会保険田川病院学術集会



| 演題 | 発表者 |
|---|--------------------|
| 1 腹部超音波室における虫垂描出能の検討 | 超音波診断科 池田 祐子 他 |
| 2 左房内および左室内に認められた多発性の心臓粘液腫の一例 | 検査課 伊佐山 亮 他 |
| 3 当院の肺癌症例における組織診と細胞診の組織型一致率と今後の課題 | 病理診断課 内田 準 他 |
| 4 薬剤師介入によるバンコマイシンTDMの取り組み | 薬局 深堀 研二 他 |
| 5 継続的な栄養療法にて肝機能が改善したC型肝硬変の一例 | 栄養科 青木 哲美 他 |
| 6 MRIの現状(安全性を考える、磁場の基礎) | 放射線課 田辺 保孝 他 |
| 7 当科における大腿骨近位部骨折の治療方針 -患者満足度の高い治療を目指して- | 整形外科 田中 康嗣 他 |
| 8 子宮原発PEComaの一例 | 産婦人科 神田 太郎 他 |
| 9 食道癌における間葉系遺伝子発現の重要性 | 外科 主藤 朝也 他 |
| 10 当院における胃十二指腸ステントの成績 | 内科 宮原 健輔 他 |
| 11 胆管と交通を有した巨大肝嚢胞の一例 | 研修医 原 洋平 他 |
| 12 ストーマ器具選択の知識統一 -フローチャートを作成して- | 東3病棟 小松 実穂 他 |
| 13 一般病棟看護師が終末期がん患者および家族ケアで認識している困難感 -デスカンファランスを活用して- | 東4病棟 柴田 伊知子 他 |
| 14 超高齢者による老々介護の看取り -終末までの関わりを通して- | 訪問看護ステーション 日山 花織 他 |

11月15日(土)、第2回社会保険田川病院学術集会を開催しました。院内の医局、看護部門、診療支援部門等から全部で14題もの発表が行われ、多岐にわたる日頃の研究成果を発表しました。

文化祭作品展



11月10日(月)から14日(金)までの5日間、毎年恒例の文化祭作品展を行いました。展示作品は419点、会期中は448名の方が来場されました。来場者アンケートでは、「毎年楽しみにしています」「プロと見間違ふような作品でびっくりしました」「ほのぼのとした感じがとても良かったです」「入院中に久々に楽しい時間を過ごすことができました。私も退院したらなにかしたいです」など、多くのコメントをお寄せいただきました。作品をご出展いただいた皆さま、またご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。来年も開催いたしますので、楽しみにしてください。

第10回ふれあい講座



10月18日(土)、10回目となる「ふれあい講座」を開催しました。今回は「高齢社会とロコモティブシンドローム」と題し、当院の庄田整形外科医長が講演し、地域住民の皆様を含む43名が参加しました。高齢化にともなうさまざまな疾患や、身体機能の低下について解説を行い、日常生活でできるストレッチなども紹介され、参加者の皆さんもうなずきながら聴き入っていました。

NST 特別講演会



10月3日(金)、年に1回開催しているNST特別講演会を開催しました。今回は昨年まで当院で外科部長として活躍されていた柳川病院の貝原淳副院長を講師としてお招きし、病院におけるNST(栄養サポートチーム)による栄養管理の重要性について分かりやすくご講演いただきました。院内外から86名の医療従事者が参加し、「NSTや栄養管理の重要性が再確認できました」「大変勉強になりました」といった声が聞かれました。

がん治療研修会



11月17日(月)、今年で4回目となる「がん治療研修会」を開催しました。この研修会は地域がん診療連携拠点病院として年1回、地域の医師や医療従事者を対象として開催している副作用対策を含む放射線療法と化学療法の推進に関する研修です。今回は放射線療法に関する講演を久留米大学放射線医学講座所属で当院でも週2回の放射線治療を行っていただいている江藤英博先生(写真左)に、化学療法に関する講演を久留米大学がん集学治療センター所属の三輪啓介先生(写真右)にお願いいたしました。

院内外から75名の医療従事者が参加し、最新の知見に基づいたがん治療と副作用対策について学びました。

Hospital Information

患者さん・地域住民の方へ

クリスマスコンサート 2014



毎年恒例となりましたクリスマスコンサートを下記のとおり開催します。
皆さまお誘いあわせのうえ、是非おこしください。

平成 26 年 12 月 20 日 (土)

13:30 開演 (約 1 時間)

会場: 社会保険田川病院1階ロビー

入場無料・申込不要

演奏者

江河 美栄子 (ピアノ)

全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)正会員。ピティナ
いづつかステーション代表。田川市在住。

吉本 由香里 (歌)

田川・コール愛 常任指揮者。福岡県合唱連盟理事・
同筑豊支部常任理事。全日本ピアノ指導者協会(ピ
ティナ)会員。童謡を歌う会講師(糸田町)。生き生き
歌のレッスン講師(田川市)。コール・カメラ颯田ボイ
ストレーナー(颯田町)。田川市在住。

篠原 恵美 (歌)

全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)会員。田川・コ
ール愛 伴奏者。香春町在住。

演奏
曲目

「アヴェ・マリア」「アメージング・グレ
イス」「テネシー・ワルツ」「ゴンドラの
唄」「蘇州夜曲」「たき火」「冬の夜」
「ペチカ」他



↑ 今年のコンサートの様子

● お問い合わせ: 社会保険田川病院 総務課 TEL.0947 (44) 0460

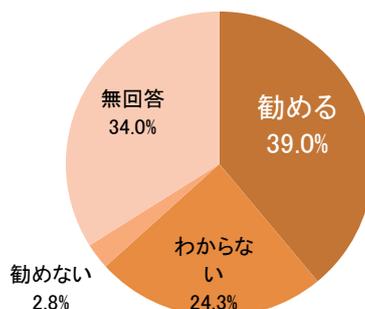
外来患者さん満足度調査結果報告

- 調査日
(1回目) 9月16日
(2回目) 10月17日
- アンケート回収数
...580件
- アンケート回収率
...80.8%

■ 当院を選ばれた理由は何ですか？

| | |
|-----------|--------------|
| 第1位 11.1% | ● 近い |
| 第2位 10.7% | ● かかりつけ医がいる |
| 第3位 9.7% | ● 信頼できる医師がいる |
| 第4位 9.1% | ● 専門医がいる |
| 第5位 6.3% | ● 医療の水準が高い |

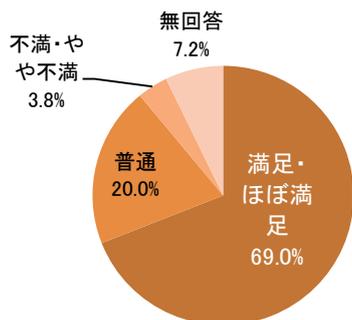
■ 当院を家族や知人に勧めますか？



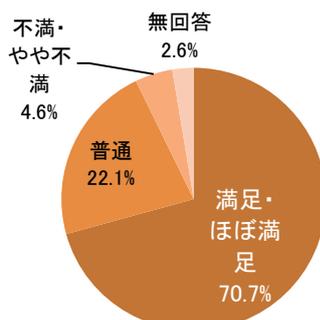
ご協力ありがとうございました。



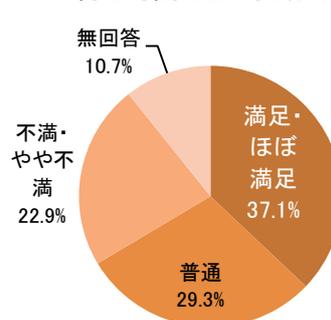
■ 本日の診療が満足できるものでしたか？



■ 看護師の対応はどうですか？



■ 待ち時間はどうですか？



今回の調査にご協力いただいた多くの患者さんに改めてお礼申し上げます(2日間で580名もの患者さんにご協力いただきました)。病院の良いところ・悪いところ等についてもたくさんのご意見をお寄せいただきましたので、患者サービス委員会にて検討し、より良い医療サービスを提供できるよう改善策を追求していきます。今後ともご指導・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

栄養科
コラム

冬に向けて免疫 UP!! 「きのこのマリネ」

朝、晩と気温差も大きく、秋も深まり冬の足音も聞こえるようになりました。寒さに備えて色々な食材を食卓に取り入れて、元気に過ごしましょう。

是非、ご家庭でもお試しください。



材料 (2 人分)

| | |
|---------------|-----------------|
| しめじ | 50 g (1/2 パック) |
| エリンギ | 50 g |
| しいたけ | 30 g |
| オリーブ油 | 大さじ 1 (12 g) |
| にんにく | 1/2 かけ (3 g) |
| 鷹の爪 (マリネ液) | 1/5 本分 |
| 塩 | 1 つまみ (0.5 g) |
| 砂糖 | 小さじ 1/2 (1.5 g) |
| レモン汁 | 1/2 個分 (15ml) |
| パセリ | 少々 |



作り方

- ① しめじは石づきをとり、細かくほぐす。エリンギは縦に裂き、半分の長さに切る。しいたけは石づきを取り、薄切りにする。
- ② フライパンでオリーブ油と薄切りにしたにんにく、小口切りにした鷹の爪を熱し、香りが出てきたら①のきのこを加えて炒める。
- ③ 混ぜ合わせたマリネ液に②を漬け、冷蔵庫で冷やして味をなじませる。盛り付けし、刻みパセリを飾る。

●エネルギー・1 人あたり：77kcal、蛋白質：2.5g、脂質：6.4 g、炭水化物：6.3g、塩分：0.25g

きのこ類の旬は 9～12 月！ 通年流通していますが、調理法を選ばずどのような料理にもきのこ類は合います。きのこ類は、

- ① 特有成分 (エリタデニン)・食物繊維が豊富で血中コレステロールを下げ、血流をスムーズにして血圧を低下させ、便秘の予防・改善の効果がある。
 - ② 低カロリーでビタミンやミネラルが豊富。
 - ③ β - グルカゴンは免疫の活性を高め、ウイルスに対する抵抗力を示したり、発癌抑制などの効用がある。
- と言われています。また、レモン汁、鷹の爪、にんにくは薄味を補う減塩効果があります。

管理栄養士 尾山 りつ

患者さんの声

○ 連携室の男性 2 人、表情が良く、すぐ感じが良かったです。

ありがとうございました。安心しました。

お褒めの言葉をいただきありがとうございます。今後も笑顔での対応を心がけていきたいと思えます。

✕ ○○科の看護師は態度と対応が悪い。変えてほしいと強く思う。

この度は看護師の配慮に欠ける態度にご迷惑をおかけし申しわけございませんでした。早速、当看護師と面談しました。年齢、経験的にも指導的立場の看護師ですが、「患者さんで大変失礼な事をしてしまった」と反省しております。また、今後、このようなことがないように外来全看護師にも指導徹底していきたいと思えます。貴重な御意見をいただきありがとうございました。

貴重なご意見をありがとうございます。今後のサービス向上に役立てたいと存じます。



電子カルテシステムを更新しました。

前回お伝えいたしましたとおり 11 月 1 日に電子カルテシステム更新の最終作業を終え、無事新たな電子カルテシステムのもとでの診療がスタートいたしました。今回の電子カルテシステム更新により、

- ① 紙カルテが完全に不要となることによるスムーズな診療の実現と待ち時間の短縮。
- ② 患者さんにとってより分かりやすい資料の提供によるインフォームドコンセントの充実。
- ③ 個人情報に関するセキュリティの向上。
- ④ 診療情報の共有化による高度なチーム医療の実践。
- ⑤ 医療者側の事務的作業の軽減による、より充実した患者さんとのコミュニケーションの実現。

などの効果が期待されます。

ただし、職員がシステムに習熟するまで、しばらくの間は、診療や看護、ご案内など様々な場面で、逆に患者さんにご迷惑をお掛けすることもあるかと思えます。できるだけ早くこれらの利点を患者さんに感じていただけるよう、職員一同努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



社会保険田川病院 診療医案内 診療受付時間 / 8:30~11:00 (急患はこの限りではありません)

平成26年12月1日現在

| 診療科 | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | |
|--------------|------------------|-------------------|--------------|--------------------|--------------|-------|-------------------------------|-------|
| 内科 | 消化器 | 新患 | 前川隆一郎 | 加治 亮平 | 宮原 健輔 | 森 敦 | 川口 俊弘 | 交代で診察 |
| | | | 榊原 重成 | — | — | — | — | |
| | | | 伏見 崇 | — | — | — | — | |
| | | 再来(予約) | 宮原 健輔 | 前川隆一郎 | 加治 亮平 | 川口 俊弘 | 榊原 重成 | |
| | 加治 亮平 | | 川口 俊弘 | 森 敦 | 宮原 健輔 | 伏見 崇 | | |
| | 呼吸器 | 新患・再来 | 向野 達也 | — | 坂元 暁 | 向野 達也 | 坂元 暁 | |
| | 循環器 | 新患・再来 | — | 翁 徳仁 | 大塚 昌紀 | 翁 徳仁 | 大島 英樹 | |
| 糖尿病 | 新患・再来 | — | 岩田 慎平 | — | — | — | 牧 俊允 (第4週以外) 木村真一郎 (第4週のみ) | |
| 小児科 | 新患・再来 | 原田 英明 | 伊藤 早織 | 原田 英明 | 原田 英明 | 原田 英明 | 原田 英明 | |
| 外科 | 新患・再来 | 田中 裕穂 | 白土一太郎 | 田中 裕穂 | 主藤 朝也 | 日高 敦弘 | 主藤・日高・白土 (交代で診察) | |
| | | 再来(予約) | 竹中 美貴 | 谷脇 慎一 | 藤吉 健司 | 田尻 健亮 | | — |
| | 乳腺専門 | 新患・再来 | — | — | — | — | 竹中 美貴 | — |
| 整形外科 | 新患・再来 | 宮崎 剛 | 田中 康嗣 | 田中 康嗣 (第1・3・5週) | 庄田 孝則 | 宮崎 剛 | 交代で診察 ※受付は10時まで。 | |
| | | 田中 康嗣 | 久能 義文 | 庄田 孝則 (第2・4週) | — | — | | |
| | 予約 | — | 庄田 孝則 | 宮崎 剛 | 田中 康嗣 | — | — | |
| 脳神経外科 | 新患・再来 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | — | ※土曜日は新患の 受付はありません。 | |
| | | 笹平 俊一 | 笹平 俊一 | — | 笹平 俊一 | 笹平 俊一 | | |
| | 予約 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | 川場 知幸 | — | 川場 知幸 | |
| 産婦人科 | 新患 | 望月 一生 (10時~稗田) | 黒松 肇 畑 春香 | 稗田 太郎 | 黒松 肇 畑 春香 | 望月 一生 | 新患のみ | |
| | 再来(産科) | 稗田 太郎 | 望月 一生 | 黒松 肇 | 望月 一生 | 稗田 太郎 | 休診 | |
| | 再来(婦人科) | 黒松 肇 | 稗田 太郎 | 望月 一生 | 稗田 太郎 | 黒松 肇 | | |
| 泌尿器科 | 新患・再来 | 宮島 次郎 | 宮島 次郎 | 綾塚 仁志 | 宮島 次郎 | 清水 志乃 | 休診 | |
| | 紹介患者 | 宮島 次郎 | 宮島 次郎 | 宮島 次郎 | 宮島 次郎 | 宮島 次郎 | | |
| 形成外科 | 新患・再来 | 森 成一郎 | 森 成一郎 | 森 成一郎 | 休診 | 森 成一郎 | 森 成一郎 | |
| 皮膚科 | 新患・再来 | 御厨 賢 | 御厨 賢 | 辛島 正志 | 御厨 賢 | 御厨 賢 | 御厨 賢 | |
| 耳鼻咽喉科 | 新患・再来 | 休診 | (大学医師) | 小野 剛治 | 休診 | 進 武一郎 | (大学医師) | |
| 眼科 | 新患・再来 | 越山 健 | 越山 健 | 越山 健 | 越山 健 | 越山 健 | 交代で診察 | |
| | | 大島 寛之 | 大島 寛之 | 大島 寛之 | 大島 寛之 | 大島 寛之 | | |
| 歯科口腔外科 | 新患・再来 | 寺崎伸一郎 | 寺崎伸一郎 | 寺崎伸一郎 | 寺崎伸一郎 | 寺崎伸一郎 | 交代で診察 | |
| | | 喜多 清大 | 喜多 清大 | 喜多 清大 | 喜多 清大 | 喜多 清大 | | |
| 精神科・メンタルヘルス科 | 新患・再来 (完全予約制) | 中村 倫之 | 中村 倫之 | 中村 倫之 | 休診 | 中村 倫之 | 休診 | |
| 緩和ケア科 | 新患・再来 (完全予約制) | 柳瀬 豊 | — | — | — | 田中 裕穂 | — | |
| 放射線診断科 | 読影(診察なし) | 植山 敏彦 | 植山 敏彦 | 植山 敏彦 | 植山 敏彦 | 植山 敏彦 | — | |
| 放射線治療科 | 新患・再来 | 江藤 英博 | — | 江藤 英博 | — | — | — | |
| 麻酔科 | 手術(診察なし) | 柳瀬 豊 | 柳瀬 豊 | — | 柳瀬 豊 | 柳瀬 豊 | — | |
| | | 金子 真也 | 金子 真也 | 金子 真也 | — | 金子 真也 | — | |
| 健診・在宅医療 | — | 井上 弘子 | 井上 弘子 | 井上 弘子 | 井上 弘子 | 井上 弘子 | — | |

- (注) 歯科口腔外科の診療受付時間 平日(午前) 8:30~11:00 (午後) 13:30~15:00
※ただし、午後の受付は紹介患者さんのみ。また、木曜日の午後については手術のため休診とさせていただきます。
- (注) 眼科の診療受付時間 月曜日・水曜日・金曜日は8:30~10:00までとさせていただきます(それ以外の曜日は11:00まで)。
- (注) 整形外科の診療受付時間 土曜日のみ 8:30~10:00までとさせていただきます(それ以外の曜日は11:00まで)。
- (注) 緩和ケア科は完全予約制(診療時間14:00~17:00)とさせていただきます。

■診療受付時間 8:30~11:00 (急患はこの限りではありません)
 ■時間外診療
 時間外に来院される場合には、必ず事前に電話連絡し、診療出来るか否かを確認のうえ来院してください。緊急を要する患者さん優先のため、場合によってはお断りする場合がございます。※小児科については、時間外、及び休日の診療は行っていません。
 ■面会時間
 平日/午後2:00~午後8:00まで、日曜・祝日/午前11:00~午後8:00まで
 ■書類確認・予約変更
 お電話は、平日/午後2:00~午後5:00、土曜/午前8:30~午後12:30まで

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 田川病院
 〒826-8585 福岡県田川市上本町10-18
 代表 TEL 0947-44-0460 FAX 0947-45-6540
 (地域医療連携室)
 TEL 0947-44-0474 FAX 0947-44-0559
 URL: <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>
 Email: syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp

当院に対してご希望や意見がございましたら、職員にお気軽にお申し付け下さい。ご意見箱もご利用下さい。

薬剤師・看護師・准看護師・看護助手 募集中!!
 ご相談・お問合せは、**(代) 0947-44-0460** まずはお電話ください